

# 週替わりで一息!!

第2038例会（第49版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

太陽の動きを目処に季節を二十四に分けたのが二十四節気ですが、その二十四節気の一つの節気をさらに三分割して細かく季節を表したのが七十二候です。一つの候が約五日間になっており、一週間単位の暮らしのリズムにほぼ合っているように思えます。ひとつひとつの候にはその時期の気象や生き物などについての短い説明のような名前がついています。できるだけ週報の発行時期に合わせてまいりますので、身の回りの季節や風習を感じていただきたいと思います。

**夏至(げし) 梅雨のまただ中にあるが、北半球では太陽の南中高度一年で最も高くなる「太陽黄経が90°の時」昼の時間が最も長く、夜が最も短くなるころ。気温が上がり、暑さは日に日に増していきませんが、日照時間は冬に向かって少しずつ短くなっていきます。**

七十二候で楽しむ日本の暮らしより

**末候「七月二日～七月六日」半夏生(はんげしょうず) 30**

「からすびしゃくが生える」半夏(からすびしゃく)が生える頃であり、半夏生の名をもつ草の葉が白く染まる頃。農事の節目ともされており、田植えを終わらせる頃です。葉が白く変化することから、半化粧、片白草とも呼ばれています。葉が白くなるのは虫を呼び寄せるためだそうで、花期がすぎると緑一色に戻ります。

20年前の主なニュース（1996年7月1日～7月7日 福井新聞縮刷版より）

※今年度から20年前の記事を福井新聞一面より抜粋し掲載致します。

- ・近畿自動車道敦賀泉（舞鶴若狭自動車道）県、概略ルート公表から18年後小浜IC～敦賀IC開通・ロ大統領決選投票エリツィン氏大差再選

「本日6月24日の金曜日」 年度末例会・懇親会 《三国観光ホテル二階和室》会長最後の挨拶から



表玄関看板が新しくなりました

■” 2015-2016年度末例会、ご苦労様でした。会長・幹事バッジの交換です。 ■



～最後の開会点鐘～

四つのテスト唱和

早起き亭貞九郎落語 手に手